

1. 「親になる」ことを支援する妊娠期からの助産ケアに関する研究

2. 女性と助産師との関係に関する現象学的研究

看護学科（母性看護学）
看護学研究科（助産学）

大和田 裕美

●連絡先 TEL：054-202-2913
E-Mail：h-owada@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード 妊娠期からの親支援，子育て支援，
女性－助産師関係，現象学的研究



【テーマ1】子育て支援活動を行うNPOとともに、妊娠期から子育て期にある方を対象とした講座を開催しながら、「親になる」ことへの支援について研究しています。中でも、パートナーが妊娠期にある男性に対する支援は、母親となる女性をサポートするために必要な知識・技術の提供を目的としたものが多く、男性自身が「親になる」ことへの支援が十分になされているとは言えません。そこで、パートナーが妊娠期にある男性を母親のサポーターではなく、親になっていく存在ととらえた効果的な助産ケア方法の開発に向けて研究しています。

【テーマ2】女性と助産師との関係は、助産ケアを支えるものでありながら、当の女性や助産師にとってはっきりと自覚されないままに経験されています。そこで、女性と助産師との関係がどのようにして成り立ち、営まれているのかを現象学を手がかりに研究しています。

☆☆☆ **ハッピーパパ**
マタニティ講座 ☆☆☆

～「家族を笑顔にするパパになる」～

ママは母親学級があるのに
パパは父親学級がない！
そんな声から生まれた
パパ中心・パパ目線の講座です

こんなこと
話しましょう

- ☆☆ パパはママのすれ違い
- ☆☆ パパは具体的に何をしたらいいの？
- ☆☆ 「赤ちゃん」ってどんな生き物？
- ☆☆ 知っておきたい制度・支援
- ☆☆ ママにとっての出産・母乳育児
- ☆☆ パートナーとのスキンシップ

子育て中の親のプログラム「Nobody's Perfect（完璧な親はいません）」の
ファシリテーターで助産師のグループが講座の進行をして、パパを応援します！

パートナーが妊娠中の方などなたでもご参加いただけます

- 初産・経産は問いません。
- パパだけ参加大歓迎♪
- ママの参加もできます

講座に参加したパパたちの声

親になることについて、
不安や思いを共有できた

パパ同士の交流の場は
少ないので、意見交換の
いい機会だった

パパ、ママの思いの違いを
知り、夫婦でたくさん話して
いきたいと思えた

親になる自覚を持った

アピールポイント カナダ発の親支援プログラム「Nobody's Perfect」認定ファシリテーターである助産師として、パパ向けマタニティ講座や未就学児の親を対象とした親支援講座を開催しています。